

あさくらしも しもきょうでんいせき
朝倉下 下経田遺跡

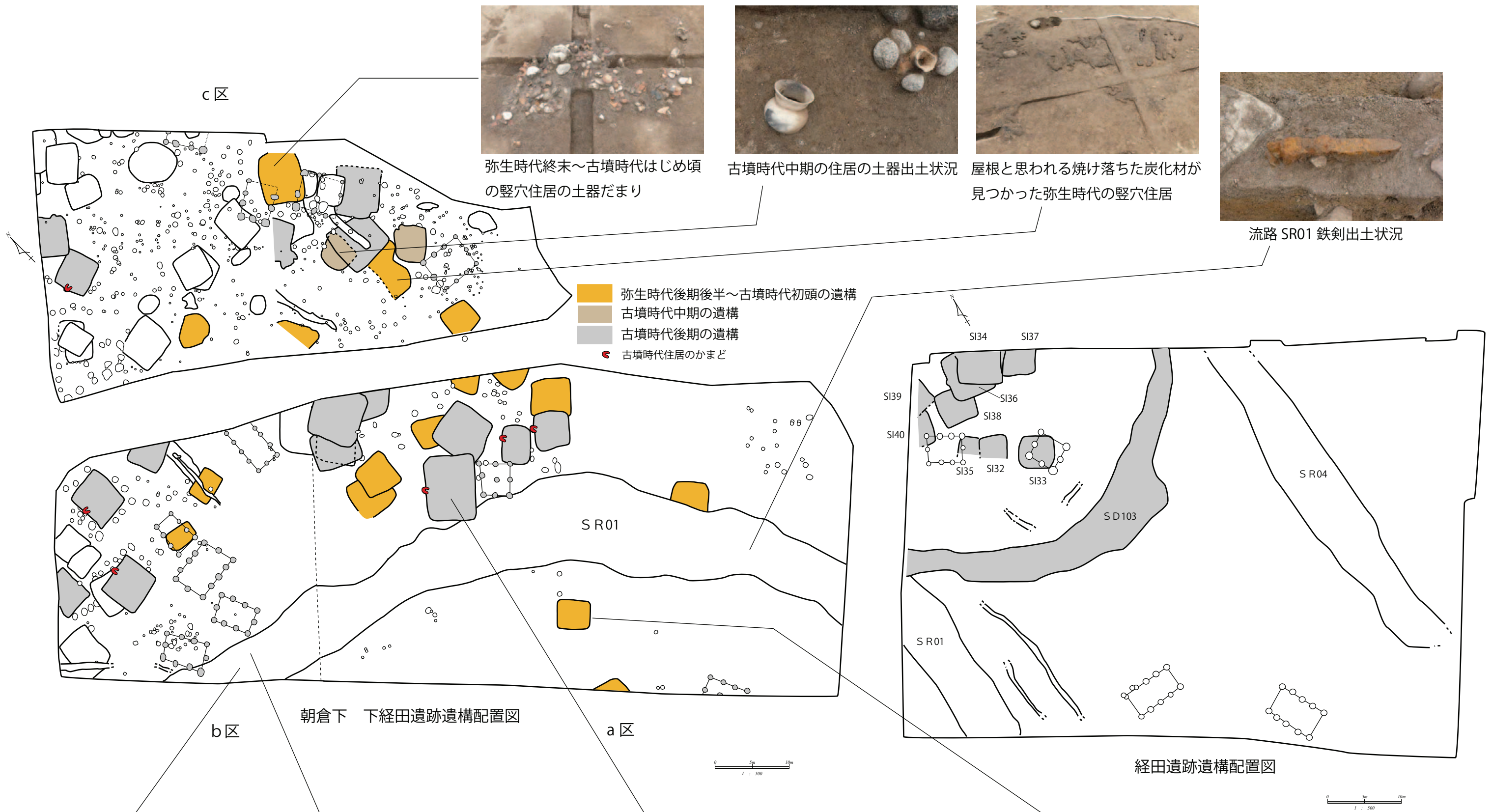
調査の概要	事業名	平成21年度今治道路埋蔵文化財発掘調査
	調査委託者	国土交通省四国整備局
	調査受託者	財団法人愛媛県埋蔵文化財調査センター
	遺跡名	朝倉下 経田遺跡・下経田遺跡
	場所	今治市朝倉下
	調査面積	21年度 下経田遺跡 1,280㎡ (20年度 経田遺跡 2,500㎡、下経田遺跡 4,900㎡)
	調査期間	平成21年4月1日～平成21年9月30日(予定)



今年度の朝倉下 下経田遺跡の調査では、弥生時代終わり～古墳時代はじめ頃（今から約1,800年前）にかけての集落と、古墳時代中期～後期（今から約1,400～1,550年前）の集落が見つかりました。

弥生時代終わり～古墳時代はじめ頃にかけての集落では、調査区全域で約10棟の竪穴住居を確認しました。また、集落の中を緩やかに蛇行しながら流れる流路SR01が幅10～12m、深さ約1mの規模で、長さ約60mにわたって検出され、この流路の中から1,500点を超える多量の土器が出土しました。

壺や甕などに近畿地方や山陰地方の影響を受けた土器があり、今治平野ではあまり出土しない器台や複合口縁壺など松山平野と共通する土器が多く見られるといった土器の内容は、この遺跡の対外的な交流関係を反映したものと考えられます。



流路 SR01 に入れられた弥生時代終末～古墳時代はじめ頃の土器



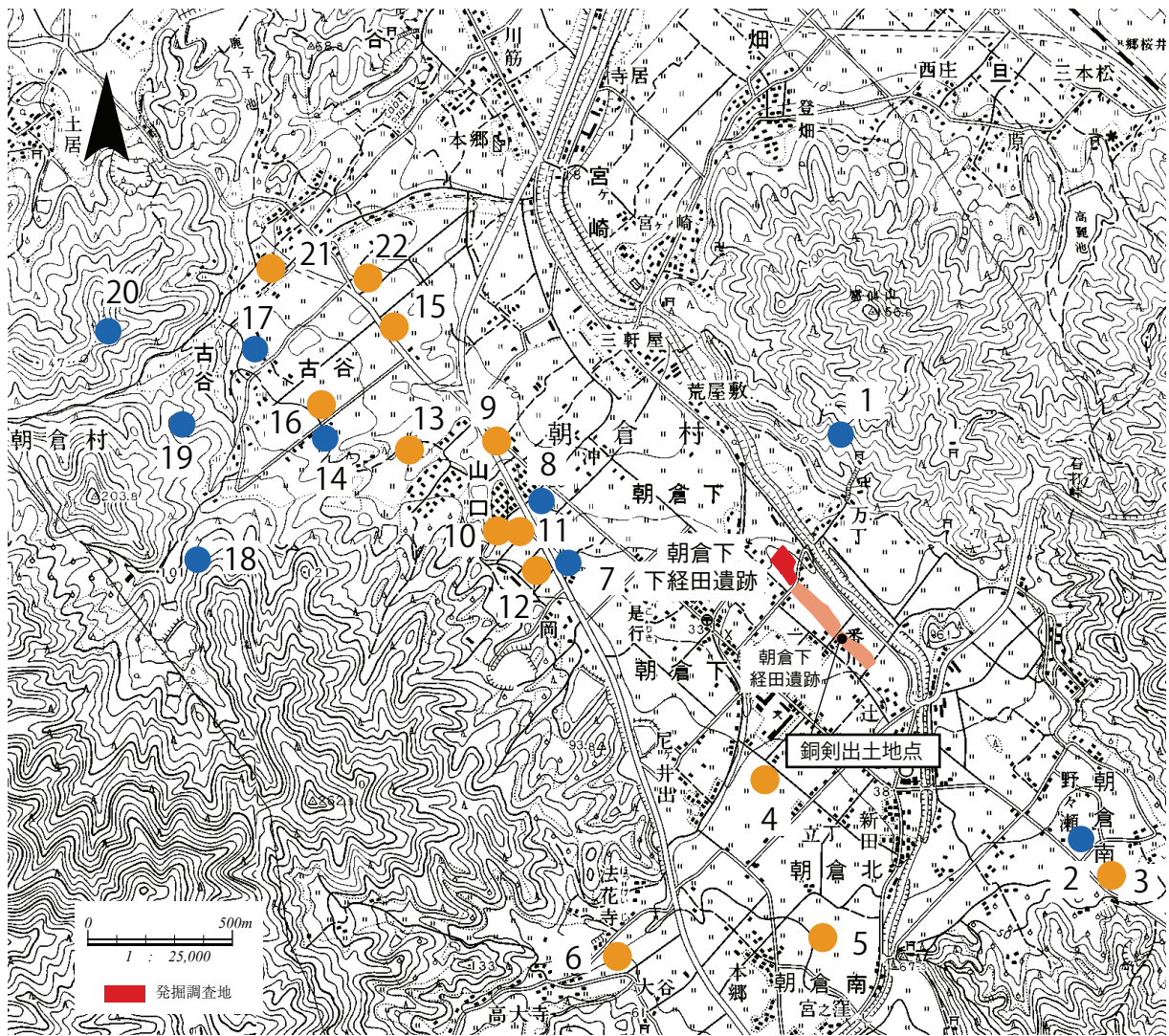
古墳時代後期の竪穴住居



かまど内の土器出土状況



弥生時代終末～古墳時代はじめ頃の竪穴住居



周辺の遺跡位置図

● 古墳
● 集落

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1 満願寺古墳群(古墳時代) | 11 下岡遺跡(弥生時代) |
| 2 野々瀬古墳群(古墳時代) | 12 岡遺跡(弥生時代) |
| 3 野々瀬Ⅳ遺跡(弥生時代) | 13 山口遺跡(弥生時代) |
| 4 立丁遺跡(弥生時代) | 14 祝谷古墳(古墳時代) |
| 5 本郷遺跡(弥生時代) | 15 古谷(横枕)(弥生時代) |
| 6 朝倉南甲遺跡(弥生時代) | 16 古谷清水寺遺跡(弥生時代) |
| 7 樹之本古墳(古墳時代) | 17 宝蔵坊古墳(古墳時代) |
| 8 根上がり松古墳(古墳時代) | 18 多伎神社古墳群(古墳時代) |
| 9 一本松遺跡(古墳時代) | 19 欄宜屋敷古墳群(古墳時代) |
| | 20 えげの坊古墳(古墳時代) |
| | 21 原遺跡(弥生時代) |
| 10 保田遺跡(弥生時代) | 22 慶林寺遺跡(弥生時代) |

下経田遺跡では、弥生時代終わり～古墳時代はじめ頃にかけての集落が古墳時代の前期にいったん途絶えますが、その後古墳時代中期には再び集落が形成されます。後期になると集落が大きく拡大し、昨年度調査した経田遺跡から下経田遺跡まで約 200m にわたって 40 棟を超える竪穴住居や掘立柱建物が重なりをもちながら密集していたことがわかりました。

遺跡は頓田川に近く洪水や川の氾濫がおきる不安定な土地のように見えますが、このような環境の中でもおそらく水田など生産活動の場が隣接していたと想定されます。また近隣には古墳時代後期の満願寺古墳群などの墓域があり、今回検出した集落との関連が考えられます。

今回の調査では、広範囲にわたって古墳時代集落の内部構造を明らかにすることが出来、集落のまとまりや広がりなどがつかめたことが大きな成果といえます。